

# ぎふ感染症かわら版

平成 29 年 4 月 28 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



## 身近な動物からうつる感染症に気をつけましょう！

犬や猫、インコやオウムなど身近な動物からうつる感染症があります。先日、妊婦の方が、鳥からうつるオウム病にかかり死亡していたことが国内で初めて確認されました。動物との接し方に気をつけて、感染症を予防しましょう。

### 動物からの感染を防ぐポイント

#### 🐾 過剰なふれあいは控えましょう

…口移しで食事を与えることや、動物と同じスプーンや箸を使うことはやめましょう  
高齢者や抵抗力の弱い方は特に注意しましょう



#### 🐾 動物に触った後は手を洗いましょう

#### 🐾 動物の身の回りは清潔にしましょう

…飼っている動物はブラッシング、爪切りなどこまめに手入れをしましょう  
寝床やトイレ、小屋や鳥かごはよく掃除をして清潔に保ちましょう



## オウム病

オウム病クラミジアという細菌が原因です。

インコ、オウム、ハトなどの鳥はこの菌を保有していることがあります。



### 人の症状

感染してから 1~2 週間後に、突然の発熱で発症し、咳、頭痛、倦怠感、筋肉痛など、**インフルエンザのような症状**が出ます。重症になると、呼吸困難や意識障害を起こし死亡することもあります。

### 感染経路

**鳥のふんに含まれる菌を吸い込む**ことで人に感染します。ふんが乾燥すると空気中に舞って吸い込みやすくなります。また、**口移しでえさを与える**ことなどによっても感染します。

### 予 防

**ケージの中の羽やふんはこまめに掃除し、部屋の換気**を心がけましょう。

また、**えさの口移しはやめましょう。**

菌を保有する鳥は、弱った時に大量の菌を排せつするので、飼っている鳥の体調が悪い時は動物病院でみてもらいましょう。



ほかにもこんな感染症があります



## パストツレラ症

パストツレラ属菌という細菌による感染症です。

健康な犬の約 75%、猫のほぼ 100%が口の中にこの菌を保有しています。

高齢者、乳幼児、糖尿病や免疫不全の患者など、**抵抗力の弱い人が主に発症**します。

### 人の症状

感染してから 30 分～2 日で、**皮膚症状、呼吸器症状**があらわれます。  
皮膚症状では、咬まれたりひっかかれたりした後、激痛や腫れを起こし、  
皮膚の深いところで重い炎症を起こすことがあります。

呼吸器症状では、軽いかぜのような症状から重い肺炎までみられます。

### 感染経路

犬や猫に咬まれたりひっかかれたりした傷から**感染**します。  
また、**口移しで食事を与える**ことなどにより経口感染します。



### 予防

高齢者や持病のある方は、犬や猫との**過剰なふれあいは控え**ましょう。

## トキソプラズマ症

トキソプラズマ原虫という微生物が原因で、多くの哺乳動物や鳥類が感染します。  
猫が感染するとふんに原虫が排せつされて人への感染源となります。

### 人の症状

健康な人が感染しても、多くは無症状で経過します。  
免疫不全の状態にある人は、脳炎などの重い症状となることがあります。  
また、**妊娠中に感染**すると、まれに**胎児に感染**し、**死産・流産**のほか、**知的障害、視力障害、脳性まひ**など、重い症状を起こすことがあります。

### 感染経路

**猫のふん**に排せつされた原虫を口から取り込むことで感染します。  
また、**感染した動物の肉を生で食べる**ことで感染することがあります。

### 予防

**猫のふんはすみやかに処理**しましょう。また、**食肉の生食は避け**ましょう。

- ★ 猫が原虫を排せつするのは、猫が初めて感染してから 2 週間以内の限られた期間です。  
また、排せつされた原虫が人への感染力をもつには 24 時間以上かかるため、  
ふんをすみやかに処理することで猫からの感染を防ぐことができます。



適切な接し方をすることで感染を防ぐことができます。  
動物と一緒に、健康で豊かな生活を送りましょう！



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。  
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

